

# スクールミーティングの意見交換内容について

日時：平成24年7月4日（水）午後3時30分～4時45分

場所：池田小学校

参加者：熊本市教育委員長、教育長、教育委員、校長、教頭、学校評議員、PTA役員

No.	提案者	提案・要望内容	回答内容	提案・要望内容を受けての今後の対応方針	担当課
1	PTA	<p>○放課後や週末の子どもの活動拠点の確保について</p> <p>親が働いている家庭が多い。放課後子ども教室、学びノート教室の開催数を増やしたり、児童育成クラブの対象学年を拡大してほしい。</p>	<p>現在、試験的に3校で図書館開放事業を、9校でスポーツの場を提供する試みを実施している。課題は、人材確保や資金繰りについてである。地域と一緒にできるものを考えていきたい。（教育長）</p>	<p>放課後子ども教室については、国補助の事業のため、予算面からも開催数を増やすことは難しい状況である。</p> <p>また、現行の児童育成クラブは、児童福祉法に基づく「放課後児童健全育成事業」として国の基準どおり1～3年生までを対象に実施しているところであるが、熊本市では、障がいのある児童については6年生までの受け入れを行っている。</p> <p>学びノート教室については、授業時数確保の観点から、課業期間中の開催数の増加は難しい状況であるが、予算面を含めたサポーター人材の確保が可能であれば、今後さらに地域と密着した事業として推進できるような方策を検討したい。</p>	学務課 指導課 スポーツ振興課 青少年育成課
2	PTA	<p>○部活動について</p> <p>部活動は保護者の迎えが前提であったり、月曜日が休みであったり、運動場が狭くなかなか思うように活動できない状況がある。保護者が迎えに来ることができないので、部活動ができない子もいる。</p>	<p>熊本市は他県に比べて部活動が盛んである。指針を定め、適切な措置がなされるよう指導している。地域のみなさんで話し合っ、お互いのできることを補ってみたいと思う。（教育長）</p> <p>迎えは強制ではない。土日の大会の送迎が大変。どのような子でも部活動ができる環境整備をしたい。（学校）</p>	<p>部活動は、練習日数、練習時間、大会出場回数等を指針で定め、児童生徒や施設の実態に応じ実施されている。</p> <p>今後もより適切で魅力ある活動となるよう指導を行っていく。</p>	健康教育課
	学校	<p>○部活動について</p> <p>部活動指導を負担に感じている教師もいる。部活動数を減らしたり、指導が一人に集中したりしないような体制作りを努めている。社会教育へシフトしていくのも一つの案であるが、条件整備が必要。</p>		<p>学校や地域の状況に応じ多様な活動の機会を確保しておくことが必要である。学校への適切な指導や助言を行っていく。</p>	健康教育課
3	学校評議員	<p>○通学路の整備について</p> <p>通学路に交通量が多く、危険箇所が数箇所ある。時間帯で進入禁止にしたり、一旦停止箇所を設けたりなど県警へ相談したが埒があかない。教育委員会と警察など行政間同士も分野を超えて連携しながら解決して欲しい。</p>	<p>通学路点検の中で具体的な話をしている。（学校）</p> <p>調査をしている。できるところから取り組む。（教育長）</p> <p>県警とも分野を超え、連携を密にして解決していきたい。（教育委員）</p>	<p>行政間で連携し、通学路の安全確保を図るため学校、警察、道路管理者で危険箇所の合同安全点検を現在実施している。</p> <p>その結果をもとに安全な通学路となるよう対応が検討され、その対策が講じられる予定である。</p>	健康教育課
	PTA 学校評議員	<p>○通学路の整備について</p> <p>歩道が整備されてなかったり、舗装が劣悪な状況になっていたりするため、通学路の整備を進めて欲しい。</p>			
4	PTA	<p>○子どもの防犯意識の向上について</p> <p>夏休みや冬休み前に学校で、警察の方が講師となり、安全講習を実施してほしい。</p>		<p>各学校での安全講習の実施については、各学校で実態に応じ、内容等も含め検討をお願いしたい。</p>	健康教育課

No.	提案者	提案・要望内容	回答内容	提案・要望内容を受けての今後の対応方針	担当課
5	PTA	○学校敷地内の整備について 学校敷地内のバリアフリーの整備をしてほしい。正面玄関から運動場を横断するのに車椅子を押すのも大変な状況である。体育館が狭いので2階建てにしてほしい。体育館の床から釘が飛び出しており、老朽化が子どもの怪我につながる恐れがある。	現在、学校の耐震化整備を優先しており、校舎整備は止まっている。耐震化の整備が終了次第順次とりかかる予定。(教育長)	学校施設のバリアフリー化については、これまで学校の要望に基づき手すりやスロープの設置などを行ってきたところ。さらに必要であれば、学校と協議を行い対応を検討する。 体育館の改築等については、今後、施設整備を計画する中で改築等について検討を行なう。なお、体育館床の補修については、学校と協議し早急に対応する。	施設課
5	学校	○学校敷地内の整備について 雨漏りが激しい。避難所になった際、モップがけで大変苦労した。一般需用費から修繕や消耗品を購入することになっており、修繕費が多くを占めるため、消耗品が購入できなくなる。修繕が必要な学校には、老朽化に応じて傾斜配分するなど予算配当を考えてほしい。		一般需用費については学校規模に応じて予算を配当している。施設の状況は各学校で異なっており、一概に築年数などで修繕の必要性を認定することは困難であるため、現在の配当予算での対応をお願いしたいが、緊急性の高い事案が発生した場合などは相談いただきたい。	学務課
6	PTA	○教育都市熊本の教職員像について 教職員像が絵に描いた餅にならないように、具体的な目標をもった施策を行って欲しい。	理想に近づけるような教師を育成したい。(教育委員) 研修を充実させ、理想に近づけることは必要。適切な研修が行われるよう教育委員会でも常に問うている。メンタルの問題を持つ教員がいることは認識しており、危機感を感じる。いかに早い段階で見つけていくか対策を考えている。(教育委員)	策定して間もないので、学校への掲示を行う、研修等の機会に資料に盛り込む等、まず広く教員に報せるための取組から始める。また、教職員像に挙げている「いつの時代も求められる資質や能力」、「今、時代が特に求める資質や能力」の内容を踏まえ、初任者研修をはじめ、諸研修の中で充実を図っていく。	教職員課 教育センター
7	学校評議員	○教師塾について 教師塾の受講生や今後のスケジュールについて教えてほしい。	採用後10年未満の若手教員に勉強してもらうことを目的としている。期間は1年間。今年度の受講生は39名。塾生は師範の授業を見学したり、自分の授業のアドバイスをもらったり、板書の仕方など具体的な技術を学ぶ内容になっている。塾生は各自テーマをもって臨んでいる。今後広げていきたい。(教育長)	新規事業であり、成果と課題を捉えながら、工夫改善に努め、今後も若手教師の授業力向上を目指し、取り組んでまいりたい。	教育センター
8	学校評議員	○教員採用について 池田小学校では、男性教諭10名、女性教諭23名と女性の割合が多い。特に採用する際に配慮があるのか。	採用の際に性別での配慮はない。(教育長)		教職員課
9	PTA	○土曜授業の復活について 学校5日制になったが、1日の授業時間が多い感じを受ける。土曜授業の復活はないのか。	公立学校では学校教育法施行規則の規定により、特別の必要がある場合を除き、土曜日は授業を行わないことになっている。(教育委員)	学校週5日制は、学校、家庭、地域社会が協力して、豊かな社会体験や自然体験などの活動の機会を子ども達に提供し、「生きる力」を育むことをねらいとして、実施されている。関係法令(休業日の規定)、教職員の勤務時間の規定により、現在のところ、土曜授業の実施は難しい状況である。	指導課